

IBAKYOU



NEWS

105号 2019.12.1

茨協 ニュース

一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会

教育・研修・訓練をセットとして行い、
能力の向上を図ろう

令和元年度 労働安全衛生大会

主催 一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会



2	令和元年度 清掃作業従事者研修指導者講習会(新規・再講習)	13	各委員会だより
3	令和元年度 技術者研修会	13	会員告知板
4	令和元年度 防災研修会	14	令和2年 新春賀詞交歓会開催のお知らせ
6	令和元年度 労働安全衛生大会	14	茨城労働局からのお知らせ(茨城県最低賃金)
10	令和元年度 会員相互のコミュニケーション促進事業	15	私の楽しみ(はなしのリレー)
12	第38回 いばらきBMゴルフ大会	16	編集後記
13	理事会だより		

清掃作業従事者研修指導者講習会 (新規・再講習)の開催



川上副会長あいさつ

8月21日(水)に県総合福祉会館4階の中研修室において、本年度の清掃作業従事者研修指導者講習会を開催しました。

受講者数は、新規12名、再講習38名の計50名でした。

講習会は、大曾根副委員長の司会により、川上副会長のあいさつで始まり、講習科目と担当講師は以下のとおりで進行了ました。

○講習科目と担当講師

講習科目	講師
建築物衛生法	専務理事 砂押 操
従事者研修指導のポイントⅠ	協会講師 篠崎 嘉勝
同 Ⅱ	同 塩谷 文則
安全と衛生	同 谷田部 敏
顧客対応	同 石田 篤史
教育技法	同 大曾根弘之
最新の情報提供 (AIが清掃の未来を切り開く)	シーバイエス(株) 吉井 弘明 様

各科目とも、最新の情報を取り入れ、実務に即した内容とすることを心がけました。

最新の情報提供では、賛助会員のシーバイエス(株)の吉井 様から、「AIが清掃の未来を切り開く」という内容で、AIを組み入れた清掃ロボットの精緻な動作の実演を通じ、清掃作業の未来について、ご講義をいただきました。

シーバイエス(株) 吉井 様のご協力に心から感謝申し上げます。

ご案内のとおり、この指導者講習会は、清掃作業従事者に対する社内研修の担い手(指導者)を養成するためのもので、全国協会が定めた「業務規定」に基づき、カリキュラムが作成されております。

多数の受講によって、社内研修の体制が強化され、人材育成が一層促進されますことを、心から願うところです。

来年度におきましても、多くの方々が受講されますことを、心からご期待申し上げます。



令和元年度 技術者研修会の開催

9月4日(水)、県総合福祉会館4階の中研修室を会場にして、27社55名のご出席をいただき、令和元年度技術者研修会を開催しました。

今回は、「消防法改正に伴う自家発電機の負荷運転の徹底について」という演題で、東京電機機器サービス㈱の大塚様から、発電機の内部観察、点検周期の延長、換気性能点検など、消防法改正後の重要な点検事項の解説をいただきました。

次に、「ビルメンテナンス業におけるIoTとAI技術の活用について」という主題の下、「ZETAを

活用したスマートビルディングの紹介」という副題で、㈱テクサーの西村様から、「AIを用いたアナログメーター自動検針ソリューション」という副題で、NEWSOFT Japan㈱の進様から、それぞれご講演をいただきました。

ご講演の内容は、IoTとAI技術の中核となる用途別の各種センサーと、センサーのネットワークを構築する無線通信の技術、さらには最先端の応用例など、大変有意義なものでした。

技術者研修会概要

- 日時 令和元年9月4日(水) 13:30~16:35
- 会場 県総合福祉会館4階 中研修室
- 出席 55名(27社)
- 研修
 - 消防法改正に伴う自家発電機の負荷運転の徹底について
講師：東京電機機器サービス株式会社
営業業務チーム チーフ 係長 大塚 一貴
 - ビルメンテナンス業におけるIoTとAI技術の活用について
副題：ZETAを活用したスマートビルディングの紹介
講師：株式会社 テクサー 取締役 西村 和仁
副題：AIを用いたアナログメーター自動検針ソリューション
講師：NEWSOFT Japan 株式会社 業務推進室
プロジェクトマネージャー 進 紀一郎
- 修了書の交付



池田委員長あいさつ



茨城県の防災計画と大規模な災害の発生時に期待される 業界団体の社会貢献に係る研修会の開催

近年、台風や地震など、自然災害の脅威が、ますます増大しております。

特に深刻な超大型化する台風は、温暖化等、地球レベルの問題が関与していることは周知の事実であり、社会の総力を挙げての対応を迫られているところ です。

そのような中、今年5月に、全国協会から「災害時応援協定策定マニュアル」(以下「マニュアル」という。)が、各県協会に示されたところ です。

マニュアルは、各県協会と地方自治体との応援協定が支障なく締結され、災害時の地域応援が円滑に実施されることを、その主旨としております。

それを受け、当協会では、9月26日(木)に、「茨城県の防災計画と大規模な災害の発生時に期待される業界団体の社会貢献に係る研修会」を、27社51名のご出席をいただき開催しました。

県消防協会の大高専務理事による「茨城県の防災計画と大規模な災害の発生時に期待される業界団体の社会貢献について」のご講演では、本県の過去の災害や、地域防災計画、防災・危機管理体制、避難所の様子、社会貢献の必要性、災害時応援協定、さらには協定締結後の訓練など、防災に関する貴重な県の情報と生きた知識を得ることができました。

特に、避難所の衛生管理が、住民の生命に直結していることや、災害関連死を防ぐことに大きな効果があるとの大高専務理事のご説明は、受講者に改めて社会的責任の重大さを自覚させるとともに、ビルメンテナンスの業務に自信と誇りを感じさせることにもなりました。

また、受講者は、基盤となる社員の安全確保を第一とする自社の防災体制の点検と、対応力の一層の強化について、その必要性を改めて認識することもできました。

続く、当協会の砂押専務理事による「災害時応援協定策定マニュアル」についての講演では、全国協会がマニュアルを策定した背景、応援協定の主旨、保険(負傷事故や損害賠償事故)、関係の書式、協定締結後の防災訓練などの説明があり、協定の締結

に係る実務的な知識を修得することができました。

なお、研修会の開催日の約2週間後、超大型の台風19号が本州を直撃し、過去に類を見ない大雨により、本県を含め、多くの自治体で甚大な被害を被ったところ です。

今後、当協会では、協定の締結をどうするのか基本方針を定め、会員の皆様方のご意向等に配慮しつつ、適切な対応を図ってまいります。



大山会長あいさつ

研修会の概要

- 1 日 時 令和元年9月26日(木)14:00~16:35
- 2 会 場 県総合福祉会館4階 中研修室
- 3 出 席 51名(27社)
- 4 研 修
 - (1) 茨城県の防災計画と大規模な災害の発生時に期待される業界団体の社会貢献について
講師：公益財団法人 茨城県消防協会
専務理事兼事務局長 大高 均
 - (2) 「災害時応援協定策定マニュアル」について
講師：一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会
専務理事兼事務局長 砂押 操



茨城県の防災計画と大規模な災害の発生時に期待される
業界団体の社会貢献に係る研修会に参加して

株式会社アメニティ・ジャパン
鎌田 成夫

(1) 茨城県の防災計画と大規模な災害の発生時に期待される業界団体の社会貢献について

茨城県で発生した災害及び茨城県地域防災計画の概要と茨城県の防災・危機管理体制についての説明がありました。直近で千葉県にて台風被害による大規模停電が発生している最中だったので、身近な話として聞くことができました。

大規模災害が発生した場合に、災害対策本部が設置されるまでの経緯や条件等の話を聞く機会が今まで無かったので大変勉強になりました。

特に避難所に関する情報で、災害は免れせいかく助かったにも拘らず、避難所生活において亡くなってしまう災害関連死が多いことを知り驚きました。また、最近では段ボールベッドの使用が通常となっていることも大変勉強になりました。

災害関連死に関しては、我々ビルメンテナンス業界に大いに係わりがあることを知り、衛生管理のプロとして社会貢献が期待されていることを実感しました。社会貢献は結果として業界のイメージアップにも繋がることも改めて知りました。

(2) 「災害時応援協定策定マニュアル」について

大規模災害が発生した際には、災害時応援体制を築くわけですが、そのためには災害時応援協定が必要であり、災害時応援協定書に基づき、地方公共団体から各県協会に協力を要請し、各県協会は支援活動を実施するという流れになっている旨を初めて知



大高講師



砂押講師

りました。

協定書の策定マニュアルでは、特に避難所衛生マニュアルに関して、トイレや洗面台の清掃方法や吐しゃ物の処理方法等について、詳しく分かり易くマニュアル化されていたのでとても参考になりました。普段の仕事または生活の中で参考になる内容も数多くありましたので、実践していきたいと思いました。

改めて、マニュアル作成の大切さや事前準備の大切さを痛感し、避難所生活では我々ビルメンテナンス業界の介入が必須であることも理解できました。

少しでも災害関連死を減らすため協力できればと思います。

最後に所感として

防災に関する研修会は、今回初めて参加させて頂きましたが、初めて聞く内容ばかりで大変勉強になりとても有意義な時間を過ごすことができました。このような研修会を受講できましたこと、大変ありがたく思います。

今後、日々の仕事の中または生活の中で本日学んだことを念頭に置いて、精進していければと思います。

令和元年度 労働安全衛生大会の開催

10月10日（木）、県総合福祉会館1階のコミュニティホールを会場にして、40社87名（非会員を含む）のご参加をいただき、令和元年度労働安全衛生大会を開催しました。

大会は、那花副委員長の司会により、川上副会長の「開会のことば」で始まり、主催者を代表して大山会長からご挨拶を申し上げます。

次に、ご来賓の茨城労働局労働基準部長 細江 裕行様から、ご挨拶とともに、本県内の労働災害等のご説明をいただきました。

続いて、講演に移り、「快適職場の実現に向けて（メンタルヘルスの保ち方）」という演題で、松井産業労働コンサルタント事務所 代表 松井 玄考(はるちか) 先生のご講話をいただきました。

松井先生からは、快適職場に向けてのメンタルヘルスの保ち方や、人間関係の重要性、さらには相互のコミュニケーション力を高めることの大切さなどを、事例を交えながら分かり易く解説していただきました。

続いて、労働安全衛生対策事例発表に移り、関東ビルサービス(株) 金田 尚之様から「当社の労働安全衛生活動について」という演題で、日和サービス(株) 江畑 智弘様から「全員参加リスクアセスメントによる安全意識の向上」という演題で、それぞれ自社での事例をご紹介していただきました。

二つの事例とも、素晴らしい成果を伴うもので、今後の労働安全衛生の推進を図るうえで大いに参考となるものでした。

大会の締めくくりは、満場一致で採択された大会宣言「**私たちは、安全と心身の健康の確保に全力で取り組み、相互の連携を図りながら、快適な職場環境を築いていくことを、ここに宣言します。**」を、根本委員長の先導により出席者全員で唱和し、労働安全衛生対策に取り組む決意を新たにしました。

それに続く川上副会長の「開会のことば」で、大会を閉会としました。



松井先生



事例発表 関東ビルサービス(株) 金田様



事例発表 日和サービス(株) 江畑様

会長あいさつ

(一社)茨城県ビルメンテナンス協会
会長 大山 進

日ごとにしのぎやすくなり、秋らしくなってきましたが、本日は、大変お忙しいところ、「令和元年度 労働安全衛生大会」にご出席をいただき、心から感謝申し上げます。

また、本日は、ご来賓としまして、業務多忙の中、茨城労働局労働基準部長 細江 裕行 様のご臨席をいただいております。

重ねて、厚くお礼申し上げる次第でございます。

さて、今さら申し上げるまでもなく、労働安全衛生は、各企業が最優先で取り組むべき重要な課題であり、作業の安全はもとより、作業の環境や健康の管理など、対策の徹底が求められております。

無災害を達成するためには、常に油断を戒め、決して注意を怠らない強い意思と、行動力を継続しなければなりません。

そのためには、社員一人ひとりが安全衛生の大切さを自覚し、意識を高めていく必要があります。

また、無災害であり続けるためには、当然のことながら、現場に潜む様々なリスクを的確に分析し、必要な対策を確実に実行していく態勢の整備が不可欠となっております。

近年、人口の少子・高齢化が進む中で、労働安全衛生に関しましては、様々な課題が生じております。

特に、社員の過重労働や、長時間労働は、前途有為な社員の心身の健康を蝕み、その影響は深刻さを増しており、企業には適切な対応が強く求められております。

ご案内のとおり、国は、昨年六月に「働き方改革一括法」を設立させ、時間外労働の上限規制を罰則付きで導入するなど、長時間労働の規制を強化しました。

どの企業にとりましても、法律の遵守は勿論のこと、良好な労働環境の確保は、重要、かつ切実な課題となっております。

そのようなことから、本日の講演では、「快適職場の実現に向けて — メンタルヘルスの保ち方 —」



をテーマに、松井産業労働コンサルタント事務所の松井 玄考先生からご講演をいただきます。

この機会に松井先生から多くのことを学び取っていただき、今後の対策に生かしていただければ、主催者として、この上ない喜びでございます。

また、それに続く会員企業による「事例発表」では、今回、関東ビルサービス株式会社の金田さんと、日和サービス株式会社の江畑さんから発表していただくことになっております。

二社のご協力に心から感謝申し上げますとともに、ご出席の皆様方におかれましては、発表される貴重な事例の中から、参考となる事項を数多く汲み取っていただき、ぜひ今後の対策に生かされますようお願いをいたします。

結びに、この大会が、ビルメンテナンス業の労働安全衛生の更なる向上に寄与するものとなりますことと、ご出席の皆様方のご健勝をご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

本日は、最後まで、どうぞよろしく願いいたします。

来賓ご祝辞

茨城労働局
労働基準部長 細江 裕行 様



ただ今、ご紹介いただきました茨城労働局労働基準部長の細江でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会様の「令和元年度労働安全衛生大会」が、このように盛会に開催されましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、大山会長様をはじめ、各会員の皆様方におかれましては、日頃から労働災害防止はもとより、労働行政の各種施策の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことを、本席をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

本日は、3点ほど、お話をさせていただきたいと思っております。

まず、労働災害防止についてです。

茨城労働局においては、昨年度から新たに第13次労働災害防止推進計画を策定し、死亡者数を12次防期間中の5年の合計より△15%以上減少させ、休業4日以上死傷者数を5年後に△5%以上減少させるなどの目標を策定し推進しているところです。

今年に入ってからの県内の発生状況を見てみますと、速報値ではありますが、9月末現在で1,886人と前年同期と比べ△206人(9.8%)の減少となるとともに、死亡者数も9月末現在で15人と前年同期に比べ△3人(16.7%)の減少となっています。業種別にみますと、おおむねどの業種も減少傾向を示している状況です。

ビルメンテナンス業で見ると、皆様方の長年のご努力をいただきまして、4年以上死亡災害ゼロ(最終死亡災害：平成27年7月30日)の状態が続いています。休業4日以上死傷者数は、9月末現在で、28人と、前年同期の33人と比べ、-5人の減少となっています。

28人を事故の型で見ると、従来型の転倒災害が

一番多いことには変わりありませんが、本年は「激突災害」が増加しています。内容を見ると、清掃した水槽から上がる際に足を滑らせマンホールに胸を打ったとか、らせん階段の前で草取りをしようとしてしゃがんだ時に頭をぶつけたとか、清掃した太陽光パネルの下をかがんで移動中に支柱に頭をぶつけたなどの、ちょっと気を付ければ防止できたのではないかと、行動災害が発生しています。

また、28人を年齢別にみると、60歳以上の高齢者が16人で57.1%を占めています。50歳以上でみると20人で、全体に占める割合は、71.4%が高齢者ということになります。

このような高齢者の労働災害防止には、高齢者の特性である筋力、視力、聴力の低下を踏まえて柔軟に対応する必要があります。茨城労働局では、「エイジアクション100」「高齢労働者に配慮した職場環境マニュアル」「STOP!転倒災害プロジェクト茨城」により、高齢労働者が働きやすい職場環境の整備を図ってまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

次に、労働衛生関係の健康確保対策ですが、県内における一般定期健康診断における有所見率は6割近くに達し、平成17年以来、全国平均を上回るとともに年々増加を続けております。また、かつて「不治の病」とされていたがんや脳卒中をはじめとする疾病の多くは、近年の医療技術の進歩により、「長くつきあえる病気」に変化しつつあり、通院治療のみを行っている労働者も少なくありません。

そのため、治療を受けながら就労をする労働者の今後の支援の進め方に参考させていただき目的で、「事業場における治療と仕事の両立支援セミナー」を開催することとしました。(チラシを入れておきました。)11月21日の午後1時30分より、ワークプラザ勝田で行われますので、ぜひご参加をお願いいたします。(参加申込書が、裏面にございます。)

2点目は、本年度の重点事項である働き方改革に係る取組でございます。

本年4月から年次有給休暇の時季指定義務や、大企業に対する時間外労働上限規制等を、内容とする改正労働基準法等の施行、及び、産業医・産業保健機能と長時間労働者に対する面接指導等の強化を内容とする労働安全衛生規則が施行され、さらには、

令和元年度 会員相互のコミュニケーション事業 (レクリエーション)の開催

この事業は、皆様からご好評をいただき、おかげ様で6回目を迎えることができましたが、今回から、従来からと内容を大きく変え、研修会の部分を廃止し、レクリエーションだけに特化することになりました。

当日は、晴天に恵まれ、20社50名のご出席をいただき、「ルーラル吉瀬・フォンテーヌの森」(つくば市)で開催し、楽しい時間を過ごすことができました。



開催の概要

1 趣 旨

ビルメンテナンス業に携わる社員が、自然に囲まれての昼食(バーベキュー等)や、景品の抽選会を楽しみながら、所属企業の垣根を越えて相互のコミュニケーションを一層深めることで、業界の健全な発展に資すること。

2 日 時

令和元年10月23日(水) 11:30~14:15

3 会 場

「ルーラル吉瀬・フォンテーヌの森」
つくば市吉瀬1247-1

4 参加者 20社50名

5 運 営 司 会：塚越 総務委員長

班分け：A~E班(5班)各班10名

ア 開 会 11:30

イ 大山会長あいさつ

ウ 調理開始 バーベキュー料理、焼きソバ
食事(ノンアルコール)

エ 抽選会(1部) 特別賞(10本)

オ 抽選会(2部)

※特等賞1本と1等賞~8等賞 計19本

※東京ディズニーリゾート入場券(ペア)

残念賞(11本)

カ 閉 会(中締め) 14:15

第6回会員相互のコミュニケーション促進事業 (レクリエーション)に参加して

日東メンテナンス株式会社
中根 正治

今回6回目を迎えた会員相互のコミュニケーション事業が、令和になり、初の試みとしてバーベキュー大会が開催されました。

昨年までは、講習会・懇親会・宿泊でしたが、今回は、手軽に懇親を深めて、肉(ニク)に目のない私は、参加を楽しみにしていました。

前日の雨もあがった10月23日に新鮮な空気と爽やかな心地よい風が気持ちいい筑波山の紅葉も色好き始めた、つくば市内のフォンテーヌの森のバーベキュー広場で午前11時から開催されました。

時間ギリギリに受付すると、会場にはすでに、参加20社、50名の参加者が、和やかに懇談していました。

バーベキュー広場は、屋根付きのアメリカンな雰囲気、炭火を使った本格的でした。

5班にグループ分けされたテーブルには、鶏もも・豚スペアリブ・牛バラカルビ・あらびきソーセージ・タイガー海老・グリーンサラダ・焼きそば等用意されていました。

塚越総務委員長の司会で始まり、ノンアルコールで乾杯!

さっそく火おこし、お皿やお箸を並べて準備万端。

お腹をすかせて待ちきれない人は、サラダをむしゃむしゃ食べ始めました。(笑)

慣れた手つきのAさんが、次々とお肉を焼いていきます。まずは、スペアリブから♪ みんなが素手でワイルドにかぶりついていきます。

「お肉おいし〜!」「タレも絶妙!」みんなが美味しそうに食べています。

どのグループも参加者のみなさんが率先して、動いていました。

みんながお腹いっぱい気味になったところで、お楽しみ抽選会が始まりました。

特等賞・1等賞～8等賞・特別賞・残念賞もありました。

抽選会が終わったところで、締め焼きそば!
野外での解放感にあふれたバーベキューに参加できた喜びや、大勢で食べる楽しさの中で、ビルメンテナンス業界の情報交換・問題点・悩み等話しをすることもでき、終始楽しい時を過ごすことが出来ました。

最後になりますが、「会員相互のコミュニケーション促進事業」を企画・準備された協会理事・事務局の皆様へ厚く感謝申し上げます。

今後も機会があれば、積極的に協会の行事に参加させて頂き、茨城県ビルメンテナンス協会と業界の発展に微力ながら貢献したいと思います。



第38回 いばらきBMゴルフ大会 開催

期 日：11月8日(金)

会 場：GOLF5カントリー笠間フォレスト
笠間市福原301

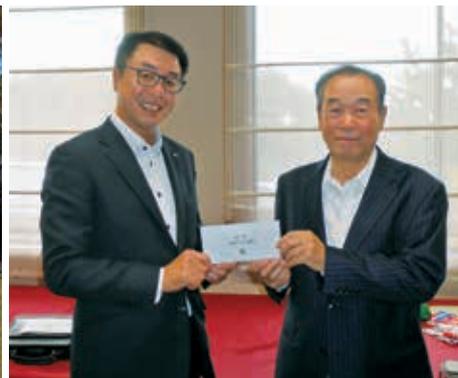
参加者：32名

結 果：優 勝 石田 篤史(株サンアメニティ茨城支社)

準優勝 押田 繁(茨城グローブシップ株)

3 位 大山 進(テスコ株つくば支店)

<敬称略>



第38回 いばらきBMゴルフ大会に参加して

株式会社サンアメニティ 茨城支社
石田 篤史

令和元年11月8日(金)、第38回いばらきBMゴルフ大会が、「GOLF5カントリーかさまフォレスト」で開催されました。

大会当日は、見事な小春日和で正にゴルフ日和でした。

会場に向かい運転しながら、『絶対優勝するぞ！でも、優勝したらスピーチきつと緊張するだろうな〜』と密かに考えていましたが、スピーチの内容まで考える余裕がありませんでした。

以前から、BMゴルフ大会には参加していますが、練習嫌いの私は、本番前に1〜2回練習場に行く程度で、スコア(ダボ・トリ)などを気にすることもなく、OB連発などで周りの皆さんの足手まといにならないように、そして、普段お話しする機会がない方々に色々なお話が聞けるだけで十分だという思いでずっと参加していました。

しかし、そんな私にも転機が訪れます。およそ2年前、『いつも通りなのに、なぜか悔しい、絶対に

上手くなってやる』自分で自分を許せない感情でした。

とにかく練習しよう・・・それからは、最低毎週1回の練習を自分に課し、本を読んだり動画を見たり、道具の研究をしたり試行錯誤を繰り返します。家族には呆れられていますが、今も継続中です。勿論、「仕事を最優先」にしていますので、ご安心ください。

さて、本題です。ご一緒させていただいたのは、日本メックスの池島さん、テスコの岡田さん、日本不動産管理の大谷さん、皆さん明るく笑いであふれ、お陰で終始リラックスした状態でラウンドできました。

優勝できたのは、パーティーの皆様のおかげであると大変感謝しています。

大山会長の挨拶の中に「何事も目指さなければ叶う事はない」とありましたが、今回の優勝でそのことが明白になりました。次回も上位入賞を目指します、乞うご期待！

最後に、事務局、運営に携わられた皆様には、大変お世話になり心から感謝申し上げます。

また、茨城県ビルメンテナンス協会及び会員各社の益々のご発展を祈念申し上げ、お礼のご挨拶いたします。

理事会だより (令和元年8月～11月開催分)

第2回常任理事会

日時 10月10日(木) 10:30～11:45

場所 協会 会議室

出席者 大山会長、川上副会長、塚越・田口・石田・根本各常任理事
事務局(砂押専務理事、田山)

議事 (1)令和元年度労働安全衛生大会の開催について

(2)当協会の防災対策(県との災害時応援協定の締結)について

(3)報告事項

(4)今後の協会事業について

(5)友好団体関係の事業について

(6)令和元年度茨城県表彰式について

(7)東京オリンピック・パラリンピック競技大会への業務参加に係る説明会について

(8)その他

各委員会だより

設備保全委員会

◇ 第2回委員会

日時 8月26日(月) 15:00～16:30

場所 協会 会議室

出席者 来栖副会長、池田委員長、竹内・増田副委員長、池島・薮・松田各委員
事務局(砂押専務理事、田山)

議事 (1)令和元年度技術者研修会の開催について
(2)同研修会のテーマについて
(3)当日の役割分担等について
(4)その他

広報委員会

◇ 第2回委員会

日時 11月13日(水) 18:00～20:00

場所 アルファ ザ 土浦 四川飯店

出席者 田口委員長、湯原・古市副委員長、館・鈴木・江畑各委員
事務局(田山)

議事 (1)茨協ニュース(第105号)の発行について
(2)その他

◇ 編集会議

日時 11月28日(木) 15:00～16:30

場所 協会 会議室

出席者 田口委員長、湯原・古市副委員長、館・鈴木・江畑各委員
事務局(砂押専務理事、田山)

議事 (1)茨協ニュース(第105号)の編集・校正作業等について
(2)その他

会員告知板 (令和元年11月28日現在)

所在地の変更 (令和元年11月1日～)

(株)アメニティ・ジャパン

(変更前)

〒310-0835

茨城県水戸市元台町1527

TEL 029-240-1511

FAX 029-240-1515

(変更後)

〒310-0804

茨城県水戸市白梅1丁目7番11号

TEL 029-297-8885

FAX 029-297-8985

令和2年新春賀詞交歓会 開催のお知らせ

期 日 令和2年1月17日（金）
時 間 午前11時開会（受付は午前10時より）
会 場 水戸プラザホテル 2F「ボールルーム」
水戸市千波町2078-1
TEL 029-305-8111

会 費 1名様 10,000円

会員皆様の多数のご参加をお待ちしております



茨城労働局からのお知らせ

最低賃金が、ことしも変わります。

茨城県 最低賃金
令和元年
10月1日から

849時間額円

27円
UP!!

雇う上でも、働く上でも、最低限のルール。
使用者も、労働者も、必ず確認。最低賃金。

最低賃金に関する特設サイト
<http://www.saiteichingin.info/>
WEBで確認！

最低賃金制度

検索



最低賃金に関するお問い合わせは
茨城労働局または最寄りの労働基準監督署へ
茨城労働局ホームページアドレス
<https://jsite.mhlw.go.jp/ibaraki-roudoukyoku/>

はなしの リレー

磯釣りに魅せられて

この新しいコーナーで、自分の趣味を紹介する機会をいただき、心から感謝申し上げます。

それでは、本題に入ります。私の趣味は、磯釣りです。かなり危険が伴います。

磯釣りを、簡単にご紹介しますと、沖の磯に船で渡り、磯の上で釣りをすることです。そのため、釣りだけでなく、船の乗り降りや、釣り具などの荷物の積み下ろしにも、熟練が必要となります。また、救命胴衣(ライフジャケット)、尻当て(ヒップガード)、手袋、ブーツなど、身につける装備も重要で、そのどれもが安全を確保するうえで不可欠のものです。

現在、私が通っている釣り場は、伊豆の下田沖にある磯で、港から船で25分くらいのところにあります。ターゲットは、人気のメジナです。ウキを付けて釣ります。

早朝、港に集合した10名～15名の釣り人が、初対面でも、和気あいあいと船に荷物を積み込み、薄暗い中、出港となります。

メジナ釣りの最盛期は厳冬期と重なりますので、その時期は、強い西風と高い波の中を航行する日が多くなります。波を避けながら上手に船を進ませる船長の技術は、まさに名人芸です。

お目当ての磯に着くと、船の先端から磯に飛び降ります。手渡しで荷物を受け取り、多くの場合、そこから釣り場まで移動します。荷物は、総重量30Kgを超えますので、大変です。

釣り場に着くと、一息入れながら波の状態を観察し、安全を確認します。それから、竿に仕掛けをセットし、「まき餌さ」などを用意して、いよいよ釣りの開始となります。

波が岩に当たり、藍色の海面に白い泡(サラ

シ)が広がっていて、潮の流れがあれば、メジナ釣りの好ポイントになります。

針に付け餌(オキアミ)を刺し、朝の第1投。何回やっても最高の気分です。ウキの近くに「まき餌さ」を、柄杓(ひしゃく)で3～4杯投入します。

ウキは、流れながら沈むように調整してあるため、魚信は竿の先で感じ取ります。

魚信を感じたら、竿先をあおり、「合わせ」を入れます。メジナの引きは強く、40cmを超えたメジナの抵抗は凄いです。ぐいぐいと引き込まれる竿先、腕の力だけでなく腰を低くして引きに耐えます。メジナは命がけですから、まさに死闘です。命と命のガチンコ勝負です。その時ばかりは、家族、友人、仕事、…、現実の世界を忘れます。至福の時です。勝負に勝って、大型のメジナを磯の上に引き上げた瞬間の感激は、言葉では表現できないほどです。

一方、釣れないときは、針のサイズ、糸の太さ、ウキの浮力など、その原因を考えます。思いつくことはすぐに変えます。あれやこれや大忙しで、じっと待てません。狩猟本能丸出しですが、それが釣りの楽しみの1つでもあります。やはり、磯釣りは「せっかち」な人が向くと思います。

南房総の小湊で覚えた磯釣りですが、その面白さと奥深さに魅了され35年、私の人生をずっと潤してくれています。おかげ様で足腰も大丈夫。感謝、感謝です。

今回は、日本不動産管理株式会社 茨城支社長 田内 憲司 様にお願いします。

一般社団法人

茨城県ビルメンテナンス協会

専務理事兼事務局長 砂押 操



こんな格好でやっています



釣り場



メジナ

編集後記

今年も残り1ヶ月を切りました。元号は“平成”から“令和”に変更となり、最初は、微妙（個人的感想です）と思っていましたが“令和”も使い慣れてきました。

また、10月には消費税が8%から10%に変わり、軽減税率等、色々苦勞なされたと思います。増税の影響で懐具合も季節同様ますます寒さが増してきました。

今年は、インフルエンザの流行が例年より早い様で、私もすでにインフルエンザA型に感染してしまいました。社内で最初に感染してしまいましたが、幸い周りの方につさずに済んで安心しました。皆様も体調管理にはお気を付けてください。

さて、茨協ニュース（第105号）ですが、12月発行号は協会の行事が多いため、掲載内容が多くなります。発行までに2回の編集会議を実施しています。原稿の依頼や内容のチェック、写真はどれを載せようかなど委員会で色々意見を出し合い、よりよい広報誌になる様に努力していますので、ここをこう変更した方が良いんじゃないか、こんな事を載せて欲しい等、ありましたら気楽に言って頂ければと思いますので宜しくお願い致します。

最後に、来年は東京オリンピックの開催があり、ビルメン業界も色々忙しくなると思いますので、協会一丸となって頑張ってください！！

新生ビルテクノ(株) 館 由紀夫



今号の編集者

委員長	田口 順章 (株とも系)
副委員長	湯原 隆幸 (タカラビルメン(株))
同	古市 茂樹 (茨城グローブシップ(株))
委員	館 由紀夫 (新生ビルテクノ(株))
同	鈴木 貴志 (株クリーンジャックシステム)
同	江畑 智弘 (日和服务(株))

責任者 会長 大山 進
編集責任者 広報委員長 田口 順章
発行回数 年3回
印刷所 有限会社クリエイティブサンエイ

発行所
茨城県水戸市千波町1918
一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会
TEL 029-305-5111 FAX 029-305-5112
E-mail ibmal@ceres.ocn.ne.jp

<http://www.ibaraki-bma.or.jp/>